



駿河台大学 NEWS

駿河台大学ホームページ <http://www.surugadai.ac.jp/>

Road to Beijing

駿河台大学初の
オリンピック選手 **誕生!!**

矢澤一輝君

北京オリンピック 出場決定!!



5月17日(土)・18日(日)、タイのナコンナヨックで行われたカヌー・スラロームアジア選手権大会兼北京オリンピックアジア地区最終予選会において、カヌー部の矢澤一輝君(メディア情報学科2年 私立東野高校出身)が、K-1種目(男子カヤックシングル)で優勝。念願の北京オリンピック出場を決めた。



この大会はカヌー・スラロームにおけるアジア選手権であると共に、K-1、C-1(男子カナディアンシングル)、C-2(男子カナディアンダブル)種目の北京オリンピック出場選手選考会でもあった。アジアにおけるカヌー競技では、国ごとにオリンピックの出場枠が与えられず、アジ

本、韓国、中国、台湾、タイ、イラン、マレーシア、ウズベキスタン、カザフスタン等の強豪国・選手(17ヶ国・30人)が熾烈な争いを繰り広げることが予想されていた。日本からは4名の代表選手が出場し、そのうちの2名が本学の矢澤君と金谷徹君(経済学科4年 神戸市立葺合高校出身)

アで1人(1チーム)が原則。K-1種目もこの大会の勝者1人が北京オリンピック出場となる(開催国の中国が負けた場合のみ、優勝者と中国の選手との2人たれ、アジアでたった1枚の切符を目指し、日本、韓国、中国、台湾、タイ、イラン、マレーシア、ウズベキスタン、カザフスタン等の強豪国・選手(17ヶ国・30人)が熾烈な争いを繰り広げることが予想されていた。日本からは4名の代表選手が出場し、そのうちの2名が本学の矢澤君と金谷徹君(経済学科4年 神戸市立葺合高校出身)

1枚の切符をめぐる 熾烈な戦い

であった。17日(土)の予選で30人の出場選手が20人に絞られ、18日(日)の準決勝で半分の10人となり、矢澤君は決勝まで順調に勝ち進んだ。

大会前、矢澤君は、「中国の選手が強敵で、日本代表選手間の争いも厳しい戦いになるだろう」と語っていた。決勝はそういった強敵を振り切り、優勝を勝ち得た。また、金谷君も決勝まで駒を進め、4位という見事な成績をおさめた。金谷君のドイツ留学から帰国後の躍進は目を見張るものがある。矢澤君と良い意味のライバルで、2人で切磋琢磨した結果が今回の矢澤君のオリンピック出場につながった。今後矢澤君は、北京オリンピック出場強化合宿を経て、大会直前に北京入りをする。オリンピックではアジアを上回る欧州の強豪を相手にすることになる。しかし、矢澤君には今大会、そしてNHK杯3連覇を見ても分かる通り、大舞台になればなるほど力を発揮する強さがある。この夏は日の丸を背負った駿大生の活躍に大いに期待したい。

(文責 体育課)